

子どもの発達と大人の関わり方



子どもが言葉を覚えはじめるころ、大人は子育ての楽しさを実感する一方で、子どもの自己主張やしつけについて悩むことが多い時期でもあります。この悩みを解決するヒントは、子どもの発達を知り、子どもを理解することにあります。今回は子どもの発達と対応のポイントについてお伝えします。

問い合わせ先 健康推進課健康推進係
☎ 0968(25)7219

<2歳>



話めても状況は改善しない場合が多いです。「イヤ」を言葉どおりに受け止めるのではなく、言葉に含まれた子どもの心を探りましょう。「そうか、嫌なんだね」と気持ちを受け止めて、声かけの工夫を工夫しましょう。

2歳代で見られるもう一つの特徴は、「できないのにやられたがる」ことです。たとえば、お菓子の袋を親が開けると「自分で開けたかった」と怒ります。親にしてみれば「どうせ無理だからだめ」と言いたいところですが、子どものやりたい気持ち大切にしながらも振り回されないと対応が求められます。親は、「分かった。自分でやりたいのね」と言いながら、子ども

が「できたー」という達成感を味わえるよう、子どもに気付かれないようにさりげなくサポートするような対応を工夫しましょう。

3歳になると、相対的に物事を見るのが始まります。言葉の発達では、単に物の名前だけでなく、大小・長短の比較や意味が分かるようになります。また、「こつだからダメ」という理屈が分かるようになる時期でもあります。「後で」や「今度ね」のような抽象的な表現よりは、「ママがこれをするまで待つてね」という言葉が分かりやすいと考えられます。

しかし、まだ大人と同じように言葉を使いこなすことはできません。この時期は、「どうして?」「なぜ?」と聞きたがる子どもが多いです。いろいろな理屈や言葉の意味が分かり始め、「もっと知りたい」と考えています。必ずしも専門的知識が必要ではありません。「不思議だね」「○○ちゃんは何を思うの?」と答えても良いのです。子どもの思いを大切に、共感しながらやりとりを楽しむことで、子どもは受け入れられているという感覚を抱きます。

とき 2月15日(金)
午前9時30分〜11時30分
午後0時30分〜4時

献血にご協力ください



<4歳>

4歳になると、過去・現在・未来という時間軸で、「後でね」「待つてね」が分かり始めます。また、約束の意味が分かり始めます。約束は子どもを縛るためではなく、例えば「歯磨きの後はお菓子を食べないお約束ね」のように、気付きを与えるためのものだと考えましょう。「静かにしていたらお菓子を買ってあげる」という交換条件的な約束は避けたいものです。参考:「母子保健2011年12月号」

4歳代



0歳から1歳

乳児期の赤ちゃんの気持ちはいろいろな感情が一緒になってしまいやすく、すぐにパニックになってしまふのが特徴です。「嫌だ! 避けたい!」じっとしていたくない!」などの感情の嵐が心の中に吹き荒れ、手足をばたかせて泣き出すことがあります。そんなとき、母親が「おなかですいたの?」「これ嫌なの?」「寂しかったのね」など子どもが感じていると思われることを代弁しながら、抱き上げたりオムツを替えたり、おっぱいをあげたりしてその不快な状態を取り除くことにより、後に子どもが自分の気持ちを言葉に出せるようになります。

1歳半前後

この時期の子どもは、大人の「○○持つてきて」「××はどれ?」といった言葉を理解して応じてくれるようになり、言葉が伝わっているという実感が持てるようになってきます。

携帯電話を操作したりすることは避け、赤ちゃんの目を見てコミュニケーションをとるようにしましょう。

2歳代



<1歳半>
事前の声掛け

1歳半ごろから頭の中にイメージを思い描けるようになり、空のコップで飲むふりをしたり、積み木を「おいしいね」と食べるふりをするようになり、とりがでるようになり、丸い物は「ボール」、4足の動物は「ワンワン」というように、「モノ」の共通性を見つけて言葉を使い始めます。そして2歳ごろにかけて爆発的に言葉の数が増えていきます。

日常生活の中で何かをするときには、必ず事前に声をかけましょう。「お風呂に入ろうね」「お散歩行くよ」など、子どもが言葉を理解しているのに関わらず、声をかけることが大事です。特に、習慣的な行動で決まった言葉かけが繰り返されると、言葉と状況が結びつきやすくなり言語理解が深まります。

個人差はありますが、2歳前後になると「パパ、お仕事ね」などの二語文を話すようになり、言葉も増えて自分の要求を表現できるようになります。しかし、会話ができるようになった訳ではなく、自分の気持ちや要求を伝えるようになっただけです。しかも「〜しない」「イヤ」などの否定語で自分の気持ちを表します。

これは物事が嫌ということより、大人に指示されたり拘束されたりすることが嫌という場合が多く、そんなときは何を言っても「イヤ」となります。それを言葉どおりに受け取って「じゃあどうするの?」と問い

歯ツピークッズ

3歳児健診時「むし歯ない」の4



12月13日・21日の歯科検診の結果で、むし歯がなかった子どもを紹介いたします。(敬称略)

- 松村なつみ (菊) 北宮
- 開拓己 (菊) 中原
- 山本千尋 (菊) 甲森北
- 角田 棕 (菊) 七坪
- 野崎柚希 (菊) 下西寺
- 西岡優雅 (菊) 花房台

ところ 泗水総合支所
内容 400ml 献血

現在、400ml 献血の需要がとても高くなっていることから、400ml の献血をお願いいたします。

服薬に関する基準が変更になったことで、薬を飲んでいる人でも献血できる場合があります。会場で医師が総合判断しますのでご相談ください。皆さんの温かいご協力をお願いします。献血の安全性向上のため、運転免許証やパスポートなどの身分証明証による本人確認をお願いしています。また、献血カードをお持ちの人は一緒にお持ちください。

- 堤智也 (菊) 辻
- 水上開里 (菊) 巨
- 梅田匠悟 (菊) 巨
- 城和摩 (七) 砂田西団地
- 長塩始那 (七) 岡田
- 森淳晴 (七) 大尺
- 増永 凌 (七) 西郷
- 水上 然 (菊) 楠原
- 益田愛斗 (菊) 上住吉
- 平井優妃 (菊) 富の原中央
- 榮大輝 (菊) 田吹
- 平井小夏 (菊) 朝日団地
- 河村妃乃 (菊) 桜山一
- 馬場一稀 (菊) 富の原一
- 宮田陽生 (菊) 薬師
- 児玉 凜 (菊) 桜山四
- 坂本京介 (菊) 富
- 興和天音 (菊) 富の原北
- 古澤心彩 (菊) 村吉

むし歯予防のためには、家族ぐるみで取り組むことがとても重要です。特に、子どもが磨いた後の「仕上げ磨き」が大切です。これからも「甘いものを控えること」「歯みがきをする」「歯を強くすること」「定期健診を受けること」を心掛け、むし歯ゼロで頑張りましょう。今回むし歯があったお子さんは、なるべく早く歯科医院を受診しましょう。